

第五十回帝國議會
衆議院

治安維持法案(政府提出)委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十四年二月十九日(木曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

年長者横山金太郎君投票管理者トナル

○横山投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○山枅委員ハ投票ヲ用キス委員長及理事ノ指名ヲ投票管理者ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○横山投票管理者ハ山枅君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ前田米藏君ヲ委員長ニ中谷貞賴君土屋興君吉田眞策君本田義成君板野友造君ヲ理事ニ指名ス

「前田米藏君委員長著ク」

○前田委員長ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス

于時午前十時四十分

會議

大正十四年二月二十三日(月曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田 米藏君

理事 中谷 貞賴君

理事 土屋 興君

理事 吉田 眞策君

理事 本田 義成君

理事 板野 友造君

降旗元太郎君
清水留三郎君
中谷 貞賴君
山田 又司君
比佐 昌平君
谷原 公君
青木 精一君
高木 音藏君
星島 二郎君

中村啓次郎君

松浦五兵衛君

禰 苗代君

谷原 公君

原 夫次郎君

内田 信也君

青木 精一君

熊谷 巖君

高木 音藏君

山崎達之輔君

星島 二郎君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 小川 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省警保局長 川崎 卓吉君

司法政務次官 熊谷 直太君

司法省刑事局長 山岡萬之助君

司法參與官 岩崎幸治郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法案(政府提出)

(以下速記)

○前田委員長 唯今カラ治安維持法ノ委員會ヲ開キマス、議事進行ニ付テ發言ノ通告者ガアリマスカラ、其方カラ許シマス

○中谷委員 議事進行ニ關シテ一言致シマス、本案ハ我國ノ立法司法ニ於キマシテ會テ類例ヲ見ザル峻嚴ナル法律デアリマス、其沿革トシテハ大正十一年ニ先ヅ貴族院ニ法案ガ提出セラレ、同年ニ於テ非常ニ議論ガ闘ハサレテ再審査ニ附セラレ、而シテ其法案ガ貴族院ヲ通過シテ衆議院ニ廻付セラレタル時分ニハ、會期切迫ノ爲ニ法案ハ握潰

シニナツタ沿革ガアルノデアリマス、政府ノ御説明トシテ當時ノ過激取締法案ト今回ノ法案トハ異ツテ居ルト云フコトデアリマスクレドモ、其内容ハ內務大臣ノ説明ノ如ク、無政府主義者、共產主義者ヲ取締ル精神カラ言ヘバ、矢張同様ノ案ト申サナケレバナラスノデアリマス、而モ輿論ノ上ニ於テモ殆ド全部ノ新聞紙ハ、其論說ニ於テ惡法ナリト非難シテ居リマス、又社會運動者、勞働運動者モ或ハ會合ヲ催シ、或ハ示威運動ヲ爲シ、或ハ文書等ヲ以テ盛ニ反對シテ居ル次第デアリマス、然ルニ此院內ノ形勢ヲ見マスルト、多數ヲ有スル與黨三派ノ支持シテ居ル政府ノ提案デアリマス、而シテ又吾々ニ情報ノ傳フル所ニ依レバ、唯一ノ反對黨タル政友本黨モ此案ニハ強テ反對デナイト云フコトヲ伺ツテ居リマス、サウ致シマスルト院內ノ形勢ハ殆ド全部ガ本案ニ對シテ或ハ敬意ヲ表シ、或ハ反對ヲシナイト云フヤウナ立場ニ在ルノデアリマス、而モ院外ノ形勢ハ院內ノ考ト同ジデナイト、吾々ハ議員ノ職責上三派ガ政府ヲ支持致シテ居リマシテモ、此問題ニ付テハ十分ニ質問ヲ致ス積リデアリマス、又其同志モ多數アルノデアリマス、其點ニ付テ政府當局ニ一言致シタイノデアリマス、吾々ハ政府ヲ援助シ支持ス

ル與黨ノ一人デアリマスケレドモ、吾
吾ノ質問ハ決シテ惡意ヲ以テ質問スル
ノデナイ、何處迄モ本案ニ就テ疑義ヲ
質シ、國民ノ自由ニ付テ重大ナル關係ヲ
有スル此案ニ付テハ、吾々ノ納得スル
迄ハ何回デモ質問ヲ重ネテ應答ヲ求メ
タイノデアリマス、而モ内務大臣ハ病
氣ノ爲メ御出席ガナイノハ遺憾デアリ
マスガ、内務政務次官ハ當然出席ト思
ヒマシタガ出席ニナリマセヌ、私ガ理
事トシテ交渉ニ參リマスルト、本案ハ
司法省ノ所管デアルカラ、司法大臣ガ
往ッテ居タラバ宜イデハナイカト云フ
答辯デアリマシタ、本案ハ司法省ノ所
管ナルト同時ニ、又内務省ノ所管デア
リマシテ、殊ニ警察關係ニ於テハ重要
ナル意味ヲ持ッテ居リマス、而シテ三派
交渉會ハ午前ハ治安警察法ヲ審議スル
トキニハ政府委員ガ出テ來ル、午後ハ
普選案ノ委員會ニ出ルト承ッテ居ッタノ
デアリマス、ソレニモ拘ラズ内務當局
ノ斯ル態度ハ遺憾トスルノデアリマ
ス、普選ハ重要デアリマスケレドモ、多
年國民ノ間ニ論議セラレテ歸結ハ分ッ
テ居リマス、之ニ反シテ本案ハ國民ノ
歸結ガ分ラナイノデアリマスカラ、政
府ハ慎重ナル態度ヲ以テ此委員會ニ臨
マレンコトヲ切望スル譯デ、此點ヲ特ニ
政府委員諸君ニ御願スル次第デアリマ
ス、又委員各位ニ於ケレマシテハ、此法
案ヲ慎重ニ審議スル方法ト致シマシテ、
先ヅ初メノ質問ハ此法案ガ果シテ此時

勢、此國情ニ於テ必要ナリヤ否ヤ、又
此法律ノ條文等ノ上ニ於キマシテ、果
シテ至當ナルモノデアアルヤ否ヤト云フ
所ノ總論的ノ質問ヲ致シテ、ソレガ稍々
終了致シマシタ場合ニ於キマシテ、各
論ノ質問ニ移ル方ガ至當デアラウト思
フノデアリマス、是ハ私ノ希望デアリ
マスガ、議事ノ進行ノ上ニ於キマシテ、
其方ガ便利デアラウト云フ意味ニ於キ
マシテ、此事ヲ切望スルノデアリマス
○前田委員長 議事進行ノ通告者ガモ
ウ一人アリマス、清水君……
○清水委員 只今ヨリ本案ヲ議スルニ
付キマシテ、大正十一年ノ第四十五議
會ニ提出セラレマシタ過激社會運動取
締法案モ、政府ヨリ參考トシテ御送付
セラレンコトヲ希望致シマス、更ニ今
一ツ政府ニ參考トシテ送付セラレタ
ク希望致シマスノハ、現在無政府主義
者、共產主義者ニシテ監督ヲ要スル所
ノ、内地ニ居住スル者、及ビ海外渡航者
ノ人員ノ統計ヲ欲イ、是ハ今訴訟中ノ
者モアリマス或ハ佐野學、片山潛ト云
フヤウナ逃亡中ノ者モアリマスガ、是
等ノ統計ヲ御提出願ヒマス
○前田委員長 サウ致シマスト清水君
ノ要求ノ各參考資料ハ、政府當局ヨリ
出來ルダケ提出シテ戴クヤウニ願ヒマ
ス——本案ニ付テ提出ノ理由ハ既ニ
本會議ニ於テ内務大臣ヨリ詳細ニ説明
ガアリマシタガ、更ニ此際國務大臣ヨ
リ説明スルノガ順序ダト思ヒマスカ

ラ、御發言ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、皆
様ノ御希望ハ如何デスカ
○横山委員 司法大臣ガ只今御出席ニ
ナッテ居リマスカラ、大體御説明ヲ願ヒ
マス
○小川國務大臣 大體此前本會議ニ於
テ、内務大臣ヨリ説明ヲ致シタル通
リデゴザイマスガ、尙ホ御要求デアリ
マスルカラ、一應説明ヲ致シマス、近頃
社會ノ狀態ノ變遷ニ連レマシテ、段々
左傾、危險ナル思想ガ發生シテ參リマシ
テ、國法上ノ秩序ヲ壞亂セントスル者
ガ少クナイ、又無政府主義ヲ唱ヘ、共產
主義ヲ唱ヘ、更ニ進ンデ、是ガ實行ニ著
手セントスル者モ亦少クナイヤウニナッ
テ參リマシタ、殊ニ露西亞帝國ノ崩壞、
獨逸帝國ノ崩壞等ハ、餘程我が國內ノ
人心ニ刺戟ヲ與ヘタヤウデアリマス、歐
羅巴、亞米利加等ニ於ケル左傾思想、無
政府主義、共產主義等ノ思想モ亦我國ニ
少カラザル影響ヲ與ヘ、殊ニ國內ニ於ケ
ル經濟事情、其ノ他一般社會事情ノ變遷
ニ伴ヒマシテ、斯ル際ニ免ルベカラザル
コトデモアリマセウガ、一般思想モ大分
動搖シテ參ッテ居リマス、加フルニ露西
亞ノ今日ノ勞農政府ハ、御承知ノ通り第
三「インターナショナル」ノ名ヲ以テ世
界ニ向ッテ、非常ナ熱心、非常ナ力ヲ盡シ、
又少カラザル金ヲ使ッテ組織的ニ共產
主義ノ運動ヲ致シテ居リマス、我が國內
ニ於テモ不幸ニシテ、此露西亞ノ「ボル
セービキ」ノ輩ト相通ジ、或ハ金品ヲ受

取り、彼等ト共ニ彼等ノ計畫ニ參與ヲ致
シテ、我が帝國内ニ向ッテ此主義思想ヲ
宣傳スルノミナラズ、更ニ進ンデ之ヲ實
行シヤウト云フコトニナッテ居ルノデア
リマス、而シテ大正九年アタリニハ既ニ
近藤榮藏等ト云フ人々ハ、上海ニ於テ露
西亞ノ「ボルセービキ」ノ人々ト相談ヲ
致シテ、金ヲ受取ッテ來テ、主義ノ實行ニ
著手シテ居ルト云フ話デアル、翌大正十
年ニハ洵ニ遺憾極マルコトデアリマス
ガ、我國ニ於テモ、共產黨ナルモノガ組
織セラレタト云フ次第デアル、只今中谷
君カラ今日マデ我國ニ於テ類例ナキ峻
嚴ナル立法デアルト、本案ノ御批評ガ
アッタノデアリマス、如何ニモ其通りデ
アリマス、何故ニ其通りデアルカト言
ヘバ、今日マデ我が帝國ニ於テ、類例ナ
キ、想像ダモ出來ナカッタ所ノ最モ危險
ナル狀態ヲ發生シテ參ッタ、此危險ハ國
家ノ爲メ、社會ノ爲メニ防衛シナケレ
バナラス、又之ヲ豫防シテ、將來スル危
險ノ發生ノナイヤウニ、致サナケレバナ
ラス、既ニ生ジタモノニ對シテハ、嚴重
ナル處罰ヲ致シテ、而シテ斯ルコトノ
絶滅ヲ期シナケレバナラス次第デアル、
外國等ニ於テモ此共產主義、無政府主
義ノ爲ニハ非常ナル苦痛ヲ感ジマシテ、
何レノ國ニ於テモ、相當峻嚴ナル法律
ヲ以テ之ニ臨ンデ居ルノデアリマス、殊
ニ世界ニ於テ自由ヲ以テ高唱サレテ居
ル所ノ亞米利加合衆國ノ如キ、二十一年
ト云フガ如キ、懲役ノ重刑ヲ課シテ、是

ガ防遏ヲ圖ツテ居ルト云フ次第デアリマス、勿論共產主義、無政府主義等ト云フモノハ私ノ考デハ、露西亞ノ如キ國ニ於テハ或ハ發生シ、或ハ又發達シ、培養セラルベキモノデアルカモ知レマセヌガ、我國ニ於テハ國家ノ歴史、國民ノ歴史、又國民相互ノ關係、人種ノ關係、歐米ノ如ク階級戰爭ノ激シクナカッタ關係、又國民相互ノ間ニ存スル所ノ熱烈ナル愛情ノ關係、社會組織、經濟組織等カラ見マシテモ、斯ノ如キモノガ露西亞ノ如キ、彼ノ貴族富豪等ガ非常ナル壓制ヲ極メ、國民ハ蒙昧野蠻ナル國ニ於テ發達シマシテモ、我國ニ於テハ斯ル淺薄ナル、亂暴ナル反動思想ガ我國ニ於テ發生スルモノトハ私共考ヘテ居リマセヌ、又斯ル思想ノ發生竝ニ發達ニ付テハ、獨リ法律ヲ以テ、之ニ臨ムノミデハ無論足レリトハ致サヌデアリマス、或ハ經濟上ヨリ致シテ、國民一般ノ生活ヲ向上セシムル、或ハ又道德上ノ精神の方面ヨリシテ一般國民ノ道義心ヲ高メル、又知識ノ上ヨリシテ斯ル淺薄ナル人類ノ共同作用ヲ妨グル所ノ、實行ノ出來ナイ人類ニ不幸ヲ與ヘルヤウナ事柄ハ宜シクナイト云フコトヲ、知識ノ上カラ之ヲ啓發シテ彼等ノ蒙ヲ啓キ、而シテ彼等ヲシテ反省セシメテ、サウシテ根本ヨリシテ是ガ絶滅ヲ圖ラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、現ニ今日マデ發生致シタ事件ヲ見マシテモ、明ニ共產主義ノ實行ニ著手ヲ致シテ、之ヲ宣傳スルバ

カリデハナイ、進ンデ一般ノ人々ニ煽動シテ是ガ實行ヲ圖ツテ居ル者モ澤山アルノデアリマス、其中ニハ隨分氣ノ毒ナヤウナ者モアル、何トカ之ニ向ッテ手ヲ盡シテ行ツタナラバ、彼等ノ蒙ヲ啓クコトガ出來ヤセヌカト考ヘラル、者モ隨分多イノデアリマス、ソレデアリマスカラ他ノ方面ニ向ッテ國家トシテモ出來得ルダケノ力ヲ盡サナケレバナラヌト考ヘル、又吾々國民トシテモ全力ヲ盡シテ、我日本ニ於テダケハドウカ斯様な恐ルベキモノハ、餘リ成長シナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ル、是ハ總テ一般國民ノ希望デアラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ今日ハ既ニ遺憾ナガラ事ガ發生シテ參ツタ、而シテ其勢モ中々容易ナラザル勢ヲ以テ蔓延ヲ致シテ行クノデアリマス、而シテ共產主義ノ結果ハ彼ノ實ニ諸君ト共ニ遺憾ニ堪ヘナイ大逆事件ノ如キ、矢張共產主義ノ影響トシテ、共產主義ノ前衛トシテ、彼ハ共產主義ノ爲ニ斯様なコトヲヤッタ言ツテ居ル、是デモ我國ニ於テ法律ヲ以テ之ヲ取締ル必要ガナイト云フコトハ、私共ニハ想像ガ出來ヌト思フガ故ニ、道德精神の方面、或ハ國民ノ生活ヲ豊富ニスルト云フ點ヨリシテ、力ヲ盡スベキコトハ勿論デアリマスケレドモ、國家トシテハ之ニ相當ナル所ノ法律ヲ設ケテ、而シテ犯罪ト云フモノヲ取締ラナケレバナラヌノデアリマス、既ニ我國ニ於

テモ刑法モアリ、相當刑罰法ガアツテ、或人ガ人ヲ殺シテモ其人ヲ死刑ニ處スルト云フ、今國家ノ根本ヲ破壊シ、社會ヲ根柢ヨリシテ打壞サウト云フコトノ實行ニ著手セムトスル者ガ出來テ居ルノニ、之ヲ取締ラヌト云フコトハドウシテモ出來ナイコトデアリマス、又此法律ニ付テ只今中谷君ノ仰セニナリマシタ如ク、最近勞働者ノ一部或ハ新聞社ノ一部等ニ於テ反對ヲスル模様ガアルヤウデアリマス、是ハ能ク此法律ヲ見テ條文ヲ能ク讀ミ、其精神ノ在ル所ヲ考ヘラレマシタナラバ、少シモ心配スル必要ハナイト思フ、無政府主義者、共產主義者ノ外ハ、學者ハ研究ヲスル爲ニ無政府主義ノ如何ナルモノデアルカト云フコトノ意見ヲ公表ヲ致シ、或ハ又是ト比較シテ此方ガ優ツテ居ルト云フ意見モアリマセウ、ソレモ此法律ニ於テハ罰シナイ、進ンデ是ガ實行ヲスルダケノ者ヲ罰スルト云フシタナラバ、殊更ニ反對セムガ爲ニ反對スル者ハ是ハ致方ガナイ、又無政府主義者、共產主義者ハ是ハ困ルデアリマセウ、是ハ反對スルニ相違ナイ、是モ致方ガナイ、此二ノ外ノ人々ハ聽テ疑ハ私ハ能ク解ケテ、サウシテ此法案ニ付テ國家ノ爲ニ社會ノ爲ニ賛成ヲ表スルコトニナルデアラウト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、大體提案ノ理由ハ右ノヤウデアリマスルガ、尙ホ御質

問ニ應ジテ御答ヲ致ス積リデアリマス
○前田委員長 質問者ノ通告ガ多數アリマスガ、通告順ニ依ッテ質問ヲ許可スルコトニ致シマス
○松浦委員 質問前ニ御伺シタイノデアリマス
○前田委員長 議事進行ニ付テハスカ
○松浦委員 議事進行ニ付テハスカ
ソレハ質問ヲ申上ゲルコトモアリマスガ、實ハ此頃新聞等デ拜見スルト、此法案ヲ提出スルニ付テハ既ニ勿論表向キノ理由ハ内務大臣カラ、或ハ只今司法大臣カラ伺ヒマシタガ、尙ホ其以外ニ對スル國家ノ現狀ト申シマセウカ、或ハ内外ノ情勢ト謂ハフカ、頗ル祕密ニ此法律ノ制定ヲ要求スル原因ガ多アルヤウナコトガ新聞ニアリマシテ、ソレニ付テ或ハ二三ノ政黨間ニ於テハ特ニ便宜ガアツテ、司法當局カラ内容ヲ伺ッタ人モアルヤウニ伺ヒマシタガ、吾々ハマダサウ云フ機會ニ不幸ニシテ接シテ居リマセヌカラ、此場合ニ於テ今一應祕密會デモ宜イカラ、表向キノ理由以外ニ更ニ吾々ガ參考トシテ伺ッテ置クベキ内情ト言ッテハドウカ知レマセヌガ、一種ノ國內ノ事情ガアルナラバ、ソレヲ先ヅ伺ッテ置イテ、ソレカラ質問ニ移リタイト思ヒマス
○小川國務大臣 只今ノ御答ノ前ニ、私ノ申上ゲタコトヲ少シ補足シテ置キタイト思ヒマス、先刻申上ゲルノ

ヲ一ツ落シマシタコトハ、御承知ノ通り日露ノ條約ト云フモノハ相談ガ出來マシテ、近日御批准ニナルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、是レハ御承知ノ通り何レノ國ニ於テモ露西亞ト條約ヲスル際ニ於テハ、「ボルセービキ」ノ宣傳ニ付テ非常ナ心配ヲ致シテ居リマス、之ニ對スル安全ノ保證ガ付カナ以上ハ條約ヲ締結セヌト云フヤウナ希望ガ、亞米利加合衆國ノ如キハ御承知ノ通りデアル、現ニ露西亞ト國交ヲ恢復致シマシタ上デ、「ボルセービキ」運動ニ對シテ非常ニ困難ヲ感ジテ居ル國モ少クナイ、獨逸ノ如キ其他アルノデアリマス、是ハ固ヨリ當然ノコトデアラウト思ヒマス、國交ガ恢復致シマシタ以上ハ、澤山ノ露西亞カラ有力ナル「ボルセービキ」ノ人モ此方ニ來テ居リマス、彼方ニモ此方カラ人ガ行キ、往復ハ頻繁ニナル、隨テ「ボルセービキ」運動ガ盛ニナルト云フコトハ、是ハドウシテモ何レノ國トシテモ心配シナケレバナラヌコトデアラウト思フ、我國ニ於テモ何レ近イ内ニ條約ガ公布ニナルデアラウト思ヒマスガ、今日デハ此席ニ於テ條約ノ内容ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、併ナガラ「ボルセービキ」ノ宣傳運動ニ付テハ日露條約ノ際ニ於テモ、日本政府トシテハ十分ニ意ヲ用ヒテ相當ナル規定ヲ設ケテアルノデアリマス、又設ケナケレバ此様ニ國交ヲ恢復ヲシテモ、往來スルコトガ出來ナイノ

如キ重大ナル法律ノ制定ニ當ッテハ宜シク公開シテ審議スベキデアルト思フ、徹底的ニ審議シテ貰ヒタイト思ヒマス、併シ今マデ起ツタ所ノ内容ニ付テハコトハ別デス、法文ニ對スル質疑ハ差支ナイト思フ

○松浦委員、私ノ趣意ハ少シ違ッテ居リマシテ、本法律案ヲ提出スル政府ノ意志ノ在ル所ハ内務大臣カラモ只今司法大臣カラモ伺ヒマシタガ、其堂々タル表面ノ理由以外ニ、日本ノ現在ノ國內ノ事情ガ此法律ノ制定ヲ急グベキ特殊ノモノガアルト云フコトヲ吾々ハ聞イテ居ル、新聞等ニ依ッテモ見テ居ル、ソレデアルカラ若シサウ云フ事情ガアリ、或ハサウ云フ事實ガアルナラ、本案ヲ審議スル先ニ聞イテ置クト云フコトハ、本案ヲ審議スル上ニ於テ頗ル便宜デアル、斯ウ云フノデアリマス、

デアリマス、之ヲ設ケルコト程ソレ程國內ニ於テハ一層「ボルセービキ」ニ對シテ之ヲ防グ準備ヲスル所ノ必要モアル譯デアリマス、是等ノ事情ノ爲ニ本案ヲ拵ヘタト云フ譯デアリマセヌガ、今日トシテハ餘程重要ナル理由トシテ申上ゲテモ宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ松浦君ノ御話デアリマスガ、本會ノ際ニ申上ゲタガ如ク、此法案ニ關聯シテ我日本國內ニ起ッテ居リマス所ノ、無政府主義共產主義ノ運動等ニ付テハ、公表スルト面白クナイト思フ事件ガ澤山アリマスカラ、其事件ノ事柄ハ秘密會ニ於テ十分御話ヲ申上ゲルコトニ致シタイト申上ゲタノデアリマス、其他國內ノ事ニ付テ別段本法ヲ制定スルニ付テ特ニ申上ゲルコトハ、今一寸氣ガ付キマセヌガ、何カアリマスレバ秘密會ニ於テハ無論隠サズ申上ゲマス

○前田委員長 本田君ニ申上ゲマスガ、松浦君ノ秘密會ヲ開クト云フ意味ハ、本案ヲ審議スル條文等ニ付テハナク、何カ制定スルニ當ッテ政府カラ話ヲシタイノデハナイカ、若シサウ云フコトガアッタナラバ、本案ヲ審議スルニ當ッテ聞イテ置キタイト云フノデアリマス

○小川國務大臣 先刻申シタ外ニハ何もアリマセヌ、段々出來テ來ル、故ニ之ヲ出スト云フ外ニハ何もアリマセヌ

○松浦委員、其出來テ來テ困ルト云フ事實、ソレヲ吾々ガ聽キタイ、斯ウ云フ事實ガアル、或ハ斯ウ云フ事柄ガアルト云フコトガアルナラ、ソレヲ伺ヒタイト云フノデアリマス

○松浦委員 只今ノ秘密會ノコトデスガ、若シ國務大臣カラナイト云フナラソレデ宜イガ、若シ私ノ言フヤウナコトガアレバ、秘密會ヲ開イテ承リタイト思ヒマス

○松浦委員 其出來テ來テ困ルト云フ事實、ソレヲ吾々ガ聽キタイ、斯ウ云フ事實ガアル、或ハ斯ウ云フ事柄ガアルト云フコトガアルナラ、ソレヲ伺ヒタイト云フノデアリマス

○松浦委員、イヤ私ガ伺ヒマシタノハ、要スルニ無政府主義ト共產主義、ソレ等ノ運動若クハ實行ニ著手シテ居ル者トカ、其他吾々ノ一向知ラナイ事ガ恐ラク參考ニナルコトガアラウト存ズルノデアリマス、ソレ等ノ點ガアリマスレバ伺ッテ置キタイ、斯ウ云フノデアリマス

○小川國務大臣 只今ノ事デスガ、此法案ヲ審議スルニ付テハ秘密會ヲ開クコトハイラヌト思ヒマス、此法案ヲ審議スルニ付テ段々進行致シマシタ場合ニ、今日ドウ云フ事件ガ起ッテ居ル、或ハ斯ウ云フ事件ガ起訴ニナッテ居ル、サウ云フ事件ノ内容ヲ公表セズ、今日秘密ニナッテ居ルモノモアリ、中ニハ豫審中ノモノモアリマスカラ、其時ニナッテナラバ秘密會デ御話申上ゲル、其點ヲ只今申上ゲタノデアリマス

○前田委員長 松浦君ニ申上ゲマスガ、差當リソレニ付テ申上ゲルコトハナイト云フノデアリマスカラ、其必要ノ時ニ伺フヤウニ願ヒマス、質問ノ順番ハ原夫次郎君デアリマスガ、原君ハ見ヘマセヌカラ、同ジ黨派ノ人ト代ヘマス、谷原君

○小川國務大臣 宜シウゴザイマス、秘密會ノ時ニ出來ルダケ申上ゲマス

○本田委員 只今秘密會ノ要求ガアリマシタガ秘密會ハイカヌト思フ、斯ノ

○谷原委員 只今國務大臣カラ段々立案ノ趣旨ヲ承リマシタガ、私ハ若シ只今大臣ガ言ハレタマケノ理由デアルナラバ、此法文ハ少シドウモ法文トシテ

示スベキ霸權ガ廣過ギハシナイカ、之ヲ具體的ニ申シマスルト、政府ハ社會主義ト云フヤウナモノニ對シテ千遍一律ノ取扱ヲセントスル結果、此憲法政治ノ發達ノ基礎トナルベキ制度ソレ自體ノ發達ヲ阻害スルヤウナ結果ヲ生出シハシナイカ、サウ云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り現在社會主義ニハ色ミナル分派ガアリマシテ、様々ニ其主張ハ違ッテ居リマスガ、併シ其根本ニ於テ最モ共通シテ居リマスルノハ、即チ生産機關ノ公有、或ハ公營デアリマス、若槻內相ガ釋明サレタ點ト綜合シテ考ヘマスルト、本法ノ所謂私有財産制度ノ否認、之ニ當ルベキ所ノモノガ其根柢ニ於テ社會主義ノ共通シテ居ル主張デアルト思フノデアリマス、所ガ其根本主張ガ同一デアリマシテモ、其實行手段ニ至リマシテハ、相一致セラレザル所ノ二ツノ主張ガ社會主義ノ間ニ於テ明ニ現ハレテ居ルノデアアル、即チ千八百八十二年ノ萬國勞働協會ノ席上ニ於テ、社會民主主義ノ「カールマルクス」主義一派ト、ソレト無政府主義「バクニン」一派ガ爭ッテ、遂ニ萬國勞働協會ハ分裂スルニ至リマシタガ、其後ニ於キマシテモ矢張兩派ハ實行手段ニ付テハ猛烈ニ爭ッテ居ル、而シテ千九百十九年ニ第二「インターナショナル」ガ出來マスルト、所謂直接行動ニ依ル實行手段ヲ選ブ人々ハ、第三「インターナショナル」ヲ組織シタヤウナ

次第デアアル、矢張是ハ競爭シテ居ル、ソレデ吾々ハ人類共存共榮ノ上カラ言ヒマス、所謂私有財産制度ノ否認、即チ違法ノ手段ヲ以テ實行ヲ企テルモノニ對シテハ、是ハ先程司法大臣ノ御意見ノ通り、斷然タル處置ヲ執ラナケレバナラヌ、是ハ少シモ疑ヲ要セナイモノト思フノデアリマス、所ガ現行ノ刑法其他ニ於キマシテ、之ニ對シテハ相當ナル處分ガ制定サレテ居ル、所謂本案ノ第一條ニ示シテアル列記事項ニ對シテ、今日違法ノ手段ヲ以テ實行シヤウト云フナラバ、三人ヤ五人デハ實行ハ出來ナイモノデアリマス、千人、二千人モ集ッテ、是等多數ノ暴行ヲ以テシナケレバ出來ルモノデハナイ、サウ云フヤウナコトヲ目的トシタ結社ヲ作ルナラバ、即チ刑法第八十八條ニ依ル陰謀、若クハ他ノ重キ所ノ刑罰ヲ以テ臨ムコトガ出來ルノデアアル、或ハ三人五人ガサウ云フ目的ヲ以テ結社ヲ組織スル取締ガ必要トスルナラバ、ソレニハ出版法モアリマセウシ、新聞紙法モアル、或ハ治安警察法モアル、併シ是等ノ刑罰デハ手緩イト仰シヤルカモ知レマセヌガ、併シ國家ノ根本ヲ紊ル者ニ對シテハ刑法ノ上カラ云ヘバ、是等三人、五人ノモノハ不能犯デアアル、不能犯ニ屬スベキモノデアアル、ドウシテモ若干治案ヲ害スルト云フノデ、或ハ治安維持ノ爲ニ御取締リニナルナラバ、現行法デ十分デアラウト思フ、併シソレハ曩ニ内務大

臣ガ本會議デ言ハレタヤウニ綜合的、又若干刑罰ニ重イ法文ヲ新ニ作ルト云フコトニナレバ、ソレハ意見ノ相違デアリマスカラ、ソレハ案ノ理由トシテハ合理的ニ認シナケレバナラヌ、意見ノ相違ハ別ノ機會ニ論ズルト致シマシテ、兎ニ角提案ノ趣旨ハ合理的ト認メナケレバナラヌ、併ナガラ之ニ反シテ、他ノ穩和ナル社會主義研究目的ハ、本法第三ニ示サレタ所ノ目的ヲ持ッテ居リマシテ、其實行手段タルヤ帝國議會ヲ通ジテ行ハントスル、言換ヘタナラバ合法的ニ行ハントスル是等ヲモ本法ヲ以テ同一ニ取締ラントスル、是ハ私共ハドウシテモ諒解スルコトガ出來ヌ、即チ國家社會主義ノ如キハ、其根本思想ニ於テハ私先ニ申上ゲタ通りデアリマス、勿論其實行タルヤ合法的ニ、所謂議會ト云フモノヲ通ジテ行ハントスルノデアリマスカラ、此國家社會主義ノ主張ハ現ニ我國ノ行政ノ上ニ於テ澤山採用サレテ居ル、獨逸ハ嘗テ「ビスマー」ガ社會主義ニ對シテ非常ナル壓迫政策ヲ執ッタケレドモ、ソレハ成功シナカッタ、取締ガ嚴重ニナレバ嚴重ニナル程社會主義者ガ惡化シタノデアリマス、遂ニ社會主義ニ對スル調和策ヲ執ッタ、其爲ニ獨逸デハ國家社會主義ガ發達シ、其現象トシテ産業組合ノ如キガ非常ニ發達シテ來タ、其産業組合ノ如キハ、日本ニ輸入サレテ政府ハ極力獎勵シテ居ル、其産業組合ノ最モ進ンダモノ等ヲ

見ルト云フト、例ヘバ農村ニ於テハ組合デ土地ヲ買ッテ組合デ管理シテ小作サシテ居ル、水力電氣ヲ買フテサウシテ生産機關ノ原動力ヲ組合ガ持ッテ、組合管理ノ下ニ生産ヲヤッテ居ル、是等ハ一部分デアリ、一事例デアリマス、是ガ擴充サレマシタナラバ、結局社會主義ノ理想トスル生産機關ノ公營公有ト云フコトニナッテ來ルノデアリマス、ソレデ私思ヒマスルノニ、將來ニ於テ眞ニ國家ヲ思ヒ、國民ノ共存共榮ヲ圖ルニ忠實ナルモノト致シマシテハ、茲ニ政黨ヲ組織スル場合ニ於テハ、只今申上ゲマシタヤウナ生産機關ノ公營ト云フヤウナコトニ對シテ、其政綱ヲ樹テマシテ、之ヲ實行スル爲ニ所謂政黨ト云フモノヲ造リ、サウシテ議會ヲ通シテソレヲ實現シヤクト努力スルコトハ洵ニ自然ノ趨勢、又斯クヤッテ民本主義ノ實ガ充實サレルコト、思フノデアリマス、所ガ此原案ガ斯ノ如キ合法的手段ニ依ッテ民意ヲ實現セントスルヲ禁止スルト云フコトニナリマシタナラバ、將來ニ於テ政綱ノ自由ト云フコトハ出來ナイコトニナル、御承知ノ如ク憲政ノ有終ノ美ヲ舉ルニハドウシテモ政黨政治ノ發達ニ俟タナケレバナラヌ、其政黨ノ發達ト云ヒマスモノハ政黨ノ自由ナル所ノ畫策、自由ナル研究ヲ許サナケレバナラヌ、唯、其實行方法ガ違法ニ互ル場合ニ於キマシテハ、是ハ國家ノ秩序ヲ紊スモノデアリマスカラ、斷

然タル處置ヲ執ルコトハ申スマデモアリマセヌ、尤モ民意ヲ代表スル所ノ立憲的機關、議會ト云フモノヲ通シテ行フ場合ニ於テ之ヲ阻止スルガ如キハ、憲法政治ノ逆轉ト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、本法第一條ニ於キマシテ合法的ニ實行スル場合於テモ尙ホ處罰セント云フコトハ、私共ハ是ハ將來政黨ノ發達ヲ阻害スル、即チ角ヲ矯メントシテ其牛ヲ害フト云フヤウナ結果ニ陥リハシナイカト云フコトニ對シテ、頗ル疑ヲ以テ居ルノデアリマス、是ハ立憲政治ノ根本論ニ屬スルコトデアリマスカラ、私共ノ疑問トシテ居ル所ガ間違ッテ居リマスナラバ、當局ノ御説明ニ依リマシテ之ヲ氷解シタイト思ヒマスルノデ、先ヅ此點ニ付テ政府當局ノ御所見ヲ御伺スル次第デアリマス

○小川國務大臣 御質問中ノ大分御意見モ入ッテ居ッタヤウデアリマスガ、本案ノ趣意ハ豫テヨリ説明致シマシタ通り私有財産制度ト云フモノヲ總體的ニ根本的ニ否認スルト云フノヲ罰スルノデアル、即チ世上用ヒテ居ル言葉ヲ用ユルナラバ、共產主義ヲ行フ者ヲ罰スル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、只今谷原君モ述ベラレタ通り、社會主義ト云フ廣イ意味ニ於テハ色ノモノモアリマセウ、又其變遷ノ歴史ト云フモノハ御説ノ通り段々ノ變遷ヲ經テ、第三「インターナショナル」ガ出

來ルニ至リマシタ、併シサウ云フモノハ本案ノ罰シヤウト云フモノニ入ラナイコトハ勿論デアリマス、即チ財産制度ニ部分的ノ變更ヲ加フル、或ハ一種ノ經濟政策ヲ實行スル爲ニ所有權ノ様式ヲ變ヘル、或ハ所有權ノ制限ヲスルト云フコトハ幾ラモアリマセウ、鐵道ノ如キモノヲ國有ニスル趣意カラ、私設鐵道ヲ買收スルト云フ場合ニ於テハ補償モスルノデアリマス、斯様ナ財産ノ制度ヲ部分的ニ變更スルトカ、所有權ノ様式ヲ變ヘルトカト云フコトヲ罰シヤウト云フノデハナイ、總體的ノ私有財産制度ト云フモノヲ否認シテ、之ヲ實行スルト云フコトハ想像ガ出來ヌ、御説ノ通り必ズヤ内亂カ何カシテ實行スルノデゴザイマセウ、所ガ其内亂ノ起ルマデ抛ッテ置イタラドウナルカ、今日ハ共產主義ノ巧ミナル者ハ手段ヲ言ハナイデ唯、共產主義ノ實行ヲヤツテ行ク、共產主義ガ全國ニ擴マッタ以上ハ仕方ガナイ、露西亞ノ如クナッテシマウノデアリマス、其處マデ行カナイ中ニ、此共產主義ノ實行ニ著手シテ居ル者ヲ罰シナケレバナラヌ、是ハ固ヨリ近年ニ至ッテ發生シタ事實デアリマスカラ、數十年前以前ニ於テ規定致シタ所ノ刑法ニハ此規定ハナイノデアリマスカラ、刑法ノ規定ハ斯ル種類ノ犯罪ニ對シテ防遏スルコトモ出來ナイ、懲戒スルコトモ出來ナイ、即チ今日新ニ起ッタコトニ對シテ新ニ法律ヲ適用シテ國家ノ秩序ヲ維

持シヤウ、斯ウ云フ主義デアルノデアリマスカラ、此邊ノコトハ誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、一部ノ經濟政策ヲ實行シ、一部ノ財産制度ノ變更、所有權ノ制限ヲスル、斯ウ云フモノハ入ラナイノデアリマス

○谷原委員 極ク簡單ニ念ノ爲ニモウ一度伺ヒタイノデアリマス、共產主義ト云フ意味モ漠然トシテ居ルノデアリマセウ、或ハ又本法ノ私有財産制度ノ否認ト云フコトモ漠然トシテ居ルノデアリマセウ、過般本會議ニ於テ或人ノ質問ニ對シテ、內務大臣ハ斯ウ云フ答辯ヲサレテ居リマス、即チ現在ヤツテ居ル所謂生産機關ニ屬スル財産ノ公有、公營、斯ウ云フヤウナ程度ノモノハイケナイ、只今御示シノ如キ一部分ノモノニ對シテハ本法ハ敢テ拘束セナイ、斯ウ云フヤウナ趣旨ノ詰リ具體的ノ御説明ヲ承ッタノデアリマス、先ヅ實例トシテ露國ノ現狀、即チ生産機關ト云フヤウナモノヲ多クノ國體ニ於テ之ヲスツカリ取ッテシマフ、サウシテ私有財産ノ所有ヲ許ス、斯ウ云フモノ、外ハ本法ニ該當スルノデアリマスカラ、將來無產階級ト共ニドウシテ今日ノ經濟組織ト云フモノハ資本家ト云フモノガ餘剩價値ト云フモノヲ獨占シテ居リマスカラ、細民ト云フ者ガ非常ニ困ッテ居ル、故ニ生産機關ヲ全部國有ニスルカ、或ハ其他ノ公共團體ノ公有ニスル、斯ウ云フ所ノ案ヲ、所謂法律案ヲ是ハ政黨トシ

テ出スベキ機會ガ私ハ一度ハ來ハシナイカ、是ハ私ハ豫想ノ出來ナイ問題ダト思ヒマス、左様ナ場合ニ所謂現在ノ露國ノヤウニ生産機關ハ全部國有或ハ其他ノ公共團體、即チ公營、公有トカニスル、斯ウ云フヤウナコトヲ帝國議會ヲ通ジテ合理的ニ之ヲ實行スルト云フ場合デモ、本法ニ於テハ一ツノ違反事項トシテ含ムノデアリマスカ

○小川國務大臣 本會議ニ於ケル內務大臣ノ答ハ確カ露國ノ現今ノ有様ヲ御答シテ居ルト思ヒマス、露西亞ハ御承知ノ如ク共產主義ヲ實行シタノデアアル、而シテ新經濟政策ニ依ッテ個人ノ手廻リノ、少シ位ノモノハ其個人ノ私有ニ任セルト云フノデアリマスガ、斯様ナモノハ其根本ニ於テ私有財産制度ヲ否認シテ仕舞ッテ、沒收シテ仕舞ッタノデアリマスカラ、ソレガ多少變更サレタ致シマシテモ、其本體ト云フモノハ私有財産制度ヲ否認シテ破壊シテ仕舞ッタノデアリマス、ソレカラ所有權ヲ法律ニ依ッテ制限スルトカ、財産制度ニ變更ヲ加ヘルトカ云フコトハ、其程度ガ大キカッタ所デ、分量ガ大キカッタ所デ、其根本主義ガ否認スル、又ハ破壊スルト云フモノデナケレバ無論自由デアアルコトハ申スマデモアリマセヌ

○谷原委員 詰リ露國ノヤウナ法律行爲ヲ以テヤルコトハ惡イ、併シ私ハ先刻申シタコトヲ再ビ御尋スル者デハアリマセヌガ、所謂此立憲政治ノ基調ガ

民本主義ニ在ルト云フコトヲ考ヘマス
ト、其民論ナルモノガ健實ナル輿論ニ
基キマシテ、ソレトノ機關ヲ通ジテ、
即チ帝國議會ヲ通ジテサウシテ茲ニ私
有財産ノ大部分ヲ露國ノ現狀ノ如ク實
行スル、併シ露國モ革命後數年ヲ經マ
シテ、今日ノ露國ハ革命ノ當時トハ餘
程變テ居リマス、今日ノ露國ノ現狀カ
ラ云フナラバ、「クロボトギン」ノ理想
トシテ居タ共産主義ハ行ハレテ居ナ
イト云フコトハ、政府モ御認メニナッテ
居ルト思ヒマスガ、此運動ガ合法的手
段ニ依ッテヤルト云フヤウナ場合ハ、本
法ニ入ラナイト云フコトニ解釋シテ、
サウ云フヤウニ承ッテ宜イノデアリマ
セウカ、私ハソレデ宜イトスルナラバ、
別ニ此點ニ對スル御答ハ戴カナイデモ
宜シイノデアリマス

○小川國務大臣 先刻來繰返シテ申シ
タ通り、此以上私カラ答辯申スコトハ
出來マセヌ

○谷原委員 サウ致シマス私共ハ斯
ウ諒解シテ宜シイノデゴザイマスカ、
詰リ合法的手段ニ依ッテサウシテ私有
財産ノ上ニ、——謂ハハ生産機關ノヤ
ウナモノヲ一括シテ、具體的ニ電氣國
有或ハ土地國有ト云フコトヲ一括シ
テ、之ヲ法律案トシテ議會ニ提出スル
ヤウナ、サウ云フ目的ヲ以テ結社ヲ作
ルト云フヤウナコトヲ今日ハ豫想シ得
ナイノデアリマスガ、左様ナ程度ノ包
括問題デアッタナラバ敢テ取締ルト云

フ意味デ提案シタノデハナイノデアリ
マスカ

○小川國務大臣 只今ノ御問ノ範圍ハ
明瞭致シマセヌガ、大體ニ於テ所有權
ノ根本ニ變更ヲ加ヘルト云フコトハ分
量ニ依ッテナク、根本カラ財産制度ヲ
否認スルト云フモノデナケレバ何等差
支ナイノデアリマス、所有權ノ制度ア
ルガ爲ニ人類ト云フモノハ満足モシ、
競争ニ依ッテ發達モ致シマセウ、要スル
ニ所有權ト云フモノガ元ニナッテ居ル
ト思フ、斯ノ如ク私有財産制度ヲ破壊
シテ仕舞フト云フト露國ノヤウニナリ
マスガ、是ハ人類トシテドウシテモ續
キ得マイト思ヒマス、ソレガ爲ニ蒙ッタ
慘禍ト云フモノモ多大ナモノデアラウ
ト思ヒマス、要スルニ私有財産制度ヲ
根本カラ壊スト云フコトガイカヌ、只
今仰セノ如ク財産ノ制度ニ變更ヲ加ヘ
ルトカ、又ハ所有權ニ制限ヲスルト云
フコト、其分量ガ大キクアリマシテモ本
法ニハ掛ラナイモノデアアル、斯ウ御承
知ヲ願ヒマス

○谷原委員 是ハ私ガ頭ガ惡クテ諒解
出來ナイノカモ知レマセヌガ、生産機關
ノコトニ付キマシテハ具體的ニ司法大
臣ニ申上ゲルマデモナク、財産ガ生産
ノ上ニドウ云フヤウニ使ハレテ居ル
カ、機能ガ如何ニ働イテ居ルカト云フ
コトハ明瞭ノ事ト思ヒマス、サウ云フ
コトヲ一ツ——法律ヲ以テ國有ニスル
ト云フノデアッタナラバ、是ハ本法ニ入

ラナイト云フコトハ本會以來能ク承ッ
テ居ル所デアリマス、所ガ私共ノ承ラ
ントスル要點ハ、若シ生産機關ヲ一切
國有トスルノガ宜シイ、サウシタナラ
バ始メテ資本家ノ餘剩價值ヲ獨占ス
ル弊ガ取去ラレル、ソコニ經濟組織ト
云フモノガ根本カラ改メラレル、サウ
シテ眞ニ人類ノ共存共榮ト云フモノガ
自然ニ得ラレル、斯ウ云フ所ノ方法ヲ
而モ破壊デハアリマセヌ、破壊ト云
フヤウナ事ハ少シモ申シテ居リマセ
ヌ、所謂憲法ニ依ッテ許サレタル所ノ帝
國議會ノ手ニ依ッテ之ヲ國政ノ上ニ布
カウ、サウ云フヤウナ事デモ包括的ニ
此生産機關ト云フモノヲ一括シテ國有
ニスル、或ハ公營ニスルト云フヤウナ
コトヲヤラウトスル爲ノ結社ハ、本法
ニ該當シテ禁止サレルノデアリマス
カ

○小川國務大臣 ソレガ所有權ノ根本
否認ニナラナイ限りハ少シモ差支アリ
マセヌ

○谷原委員 ソレデハ他ノ方面カラ斯
ウ云フコトヲ御尋ネ致シマス、詰リ政
府ハ所謂普通選舉ト云フモノヲ提案ニ
ナリマシテ、選舉權ノ擴張ノ上ニ所謂
國民ノ政治能力ニ順應シテ擴張サレル
ト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマ
ス、是ハ私モ非常ニ喜ンデ居ルノデア
リマスガ、其趣旨ニ付キマシテハ洵ニ贊
成シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、
果シテ國民ノ政治能力ガドレ程發達シ

テ居ルカト云フコトニ付テハ、疑ヲ持ッ
テ居ルマデノコトデアリマス、政府ニ
於キマシテハ、所謂國民ノ政治能力ニ
對シテハ十分ニ參政權ヲ行使スル機會
ヲ與ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ所ノ根
本立場ニ立タレテ、折角當議會ニアノヤ
ウニ御英斷ノ御提案ガ出來テ居ルヤウ
ナ次第デアアル、所ガ何等ノ皮肉ゾ、ソレ
ト同時ニ其選舉權ノ擴張サレタ結果ト
シテ、當然ドノ政黨ニ於テモ政黨政策ト
シテ掲ゲラレルベキ所ノ一ツノ趨勢ヲ產
出ス此ノ所謂生産機關ノ公營ノ如キサ
ウ云フヤウナコトヲ政黨ガ旗印ニ掲ゲル
場合ニ於テ之ヲ處罰セントスルガ如キ
意味ニ於テ、此立法ヲサレルト云フコトハ、
私ハソコニ甚シキ政策ノ矛盾ガアリハシナイ
カト云フコトヲ懼レルノデアリマス、ソ
レデ若モ憲法政治ノ有終ノ美ヲ濟シ意
味ニ於テ、一面普通選舉ト云フモノヲ行ッ
テ、サウシテ他面治安維持法ト云フモ
ノヲ出ス、ソコダ、所謂光風霽月ナル此
立憲ノ精神ト致シマシテハ、即チ何處マ
デモ民論ト云フモノヲ尊重スルノデア
ル、所謂輿論政治ノ實ヲ舉ゲルノデア
ル、隨テ政府トシテハ所謂議會主義ニ依ッ
テ行ハレルコトハ敢テ干渉シナイ、斯
ウ云フ所ノ精神デアアラウト私ハ思ハレ
ルノデアアル、所ガ先程來ノ御説明ニ依
リマスルト、却テ何ダカ一面選舉權ヲ
擴張スル、其結果ハ無產政黨ト云フモ
ノガ現ハレル、サウシテ生産機關ノ公
營ト云フヤウナ問題ヲ持出スカモ分ラ

ナイ、ソレデ豫メ之ニ依ッテ束縛スルノデアル、即チ右ニ與ヘテ左ニ奪ハントスル如キ感ジガ浮ブノデアル、ソレデアリマスカラ其政府ノ態度カラ、苟モ普選ヲ提案スル位ノ政府デアルカラ、隨テ議會主義ニ依ル所ノ此生産機關ノ公營ノ如キハ、本法ニ於テ決シテ干涉スベキ目的デハナイト、斯ウ判斷シテ宜シイノデアリマスカ、此方面カラ伺ヒタイノデアリマス

○小川國務大臣 私ハ先刻ソレガ私有財産ノ否認ニ當ラナケレバ宜シイト申上ゲタコトヲ、モウ少シ詳シク申述ベタイト思ヒマス、只今御話ノヤウナ場合ニ於テデス、議會ヲ通ジテ或ル生産機關ナラ生産機關ト云フ一ツノモノヲ財産ト見マセウ、廣イ意味ニ於テ、其財産ヲ公營ニスル、斯ウ云フ場合ニ起ル問題ハ、其ノ公營ニスルニ付テ、今日之ヲ所有シテ居ル者ニ對シテ所有權、即チ私有財産制度ヲ尊重シテ、所有權ニ對スル賠償ヲヤツテ、之ヲ公營ニスルト云フコトハ是ハチットモ差支ナイ、之ヲ所有權ヲ認メズニ私有財産制度ヲ否認シテ、唯公營ニスルト云フコトニナレバ、即チ根本的ニ否認スル譯ニナルカラ本法ニ觸レル、斯フ云フ譯デアルカラ、谷原君ノ御意見ノ如ク、所有權ハ尊重スル、併シナガラ個人ガ持ッヨリ國家ガ持チ、會社ガ持ッヨリ公共團體ガ持ッ方ガ宜シイト云フコトデアレバ何等差支

ナイ、其間ニ所有權ヲ否認シテソレヲ取上ゲテシマウト云フコトデナケレバ、本法ニ牴觸セザルノミナラズ、今後サウ云フ議論ハ幾ラモ起ラウト思フ

○本田委員 私ハ先ヅ前提トシテ、二御伺シタイト思ヒマス、ソレカラ本問題ニ掛ラウト思ヒマス、現政府ガ只今大臣ノ説明サレタ如ク、我國ニ峻嚴ナル法律ヲ提案サレタト云フ御説明デアリマスガ、前ニ過激社會運動取締法ガ出マシタ時分ニハ、日本國內全部反對シテ葬ラレタノデアリマシタガ、ソレガ大正十一年デアリマシタガ、其法律ヲ出サナケレバナラヌト云フ政府ガソレヲ出シタ際ニ葬ラレテ、其後政府ハソレニ對スル相當ナ善處サレタコトガアツタカナカッタカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、分リマシタカ

○小川國務大臣 モウ一遍願ヒマス

○本田委員 前ニ過激社會運動取締法ノ葬ラレタ後ニ、ソレニ對シテ相當ニ善處サレテ居ッタカドウカ、ソレカラ斯ノ如キ峻嚴ナル法律ヲ以テ取締ツテ、サウシテ此犯罪ヲ防止スルト云フコトガ國家ノ利益デアルカ利益デナイカ、善良ニ導クト云フ十分ナ施設ガ行ハレテ居ルカ居ラヌカ、法律デバカリ處分ヲシテ、此善良ニ導クト云フ、善處スルト云フ機關ガ缺ケテ居リハシナイカ、法律ノ峻嚴ヲ以テ之ヲ取締ツテ、善處スルト云フコトヲシナイデ居ッタナラバ、却テ是ガ惡法デアツテ斯ウ云フモノハ

徹頭徹尾實行スルコトハ出來ナイコトニナリハシナイカト云フコトヲ伺ッテ置キタイ、ソレカラ是ガ一ツ大臣ニ殊更伺ヒタイ、此法律ト云フモノハ大體結社、多數結社、多數ノ集團ト云フモノニ對シテ之ヲ處分スルト云フコトガ原則ニナツテ居リマス、然ルニ先日來大臣ハ目前ニ見ラレテ居ラレタガ、衆議院ニ於テ多數ノ團體ガ叩イテ、實行シタモノニハ處分ヲシナイ、少數ノ者ノヤツタ事柄ハ處分スルト云フヤウナコトハ、是ハ(「脱線々々」ト呼フ者アリ)イヤ脱線デナイ、此問題ニ付テハ重大ナ關係ガアル、此問題ニ付テハ、現ニ大臣ハ見テ居ラレタガ、サウ云フ事柄デ此法律ノ根本カラ誤ッテ居リハシナイカ、大臣ハ其點ニ付テドウ云フ御考デアルカ、斯ウ云フコトモ是亦伺ッテ置キタイ、ソレヲ先ヅ大體伺ッテ、ソレカラ本問題ニ私ハ掛リタイト思ヒマス

○小川國務大臣 先年過激社會運動取締法案ガ出テ議會ヲ通過シナカッタ、其以來如何ニ善處シタカト云フコトデスガ、此法律ガ議會ヲ通過スルコトガ出來ナカッタノデアリマスカラ、政府ハ已ムヲ得ズ其以後ニ於テハ現在ノ法律ノ規定ニ依ッテ、即チ或ハ治安警察法、或ハ出版法、新聞紙法等ニ依ッテ是等ノ犯罪ニ對シテ取締ヲシテ參ッタノデアリマス、ソレガ如何ニモドウモ輕イ刑罰デアリマシテ、毫モ其刑罰ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、却テ是等ノ法律

ニ依ッテ僅バカリノ刑ヲ受ケタ者ハ益々偉クナルト云フ風ナ模様モ見エタノデアリマス、ソレガ爲ニ今回此法律ヲ提出シテ特別ナル規定ヲ設ケタ所以デアリマス、但シ彼ノ大震災ノ後ニ人心ノ動搖ガ甚シクアリマシテ、餘程心配ノ模様デアリマシタカラ、御承知ノ通り其時緊急勅令ガ出來テ居リマス、緊急勅令ハ大分重イ罰ヲ取締ツシテ居リマスケレドモ、此緊急勅令ノ適用ト云フモノハ餘程注意ヲ致シマシテ、此範圍ヲ擴大ナイコトニ注意致シマシタカラ、此法律ニ依ッテ罰シタ件數ト云フモノハ極メテ少ク、數件ニ過ギナイ位デアリマス、隨分之ヲ廣ク適用致シマス、此緊急勅令ヲ實施ノ時ハ擴張ニ擴張ヲシテ行ッテ引張ルコトモ出來タノデアリマシタガ、此適用ヲサレタ者ハアノ騷動ノ間ニ隨分危險ナル言動ヲシタ者モ澤山アリマスケレドモ、サウ云フ風ナ言葉トカ筆ノ先ノコトデ、實行ノ意思ノ無イモノハ取締ラナイヤウニ制限シテ來タノデアリマスカラ、是ハ數件ニ出デナイ位ニナツテ居リマス、ソレカラ多數ヲ罰スル云々ト云フコトデアリマスガ、本法ハ實行スル考ヲ以テ實行ノ協議ヲ爲シ、結社ヲ爲シ、煽動ヲスル者ヲ罰スルノデアリマス、多數云々ト云フ、先日議會ニ於テノ話ガ出マシタガ、本田君ノ御説ノ通り、多數ノ人ノヤツタコトデアルカラ、不都合デアルガ、多數デモ少數デモ刑罰ハ公平ニ適用シナケ

ニ依ッテ僅バカリノ刑ヲ受ケタ者ハ益々偉クナルト云フ風ナ模様モ見エタノデアリマス、ソレガ爲ニ今回此法律ヲ提出シテ特別ナル規定ヲ設ケタ所以デアリマス、但シ彼ノ大震災ノ後ニ人心ノ動搖ガ甚シクアリマシテ、餘程心配ノ模様デアリマシタカラ、御承知ノ通り其時緊急勅令ガ出來テ居リマス、緊急勅令ハ大分重イ罰ヲ取締ツシテ居リマスケレドモ、此緊急勅令ノ適用ト云フモノハ餘程注意ヲ致シマシテ、此範圍ヲ擴大ナイコトニ注意致シマシタカラ、此法律ニ依ッテ罰シタ件數ト云フモノハ極メテ少ク、數件ニ過ギナイ位デアリマス、隨分之ヲ廣ク適用致シマス、此緊急勅令ヲ實施ノ時ハ擴張ニ擴張ヲシテ行ッテ引張ルコトモ出來タノデアリマシタガ、此適用ヲサレタ者ハアノ騷動ノ間ニ隨分危險ナル言動ヲシタ者モ澤山アリマスケレドモ、サウ云フ風ナ言葉トカ筆ノ先ノコトデ、實行ノ意思ノ無イモノハ取締ラナイヤウニ制限シテ來タノデアリマスカラ、是ハ數件ニ出デナイ位ニナツテ居リマス、ソレカラ多數ヲ罰スル云々ト云フコトデアリマスガ、本法ハ實行スル考ヲ以テ實行ノ協議ヲ爲シ、結社ヲ爲シ、煽動ヲスル者ヲ罰スルノデアリマス、多數云々ト云フ、先日議會ニ於テノ話ガ出マシタガ、本田君ノ御説ノ通り、多數ノ人ノヤツタコトデアルカラ、不都合デアルガ、多數デモ少數デモ刑罰ハ公平ニ適用シナケ

ニ依ッテ僅バカリノ刑ヲ受ケタ者ハ益々偉クナルト云フ風ナ模様モ見エタノデアリマス、ソレガ爲ニ今回此法律ヲ提出シテ特別ナル規定ヲ設ケタ所以デアリマス、但シ彼ノ大震災ノ後ニ人心ノ動搖ガ甚シクアリマシテ、餘程心配ノ模様デアリマシタカラ、御承知ノ通り其時緊急勅令ガ出來テ居リマス、緊急勅令ハ大分重イ罰ヲ取締ツシテ居リマスケレドモ、此緊急勅令ノ適用ト云フモノハ餘程注意ヲ致シマシテ、此範圍ヲ擴大ナイコトニ注意致シマシタカラ、此法律ニ依ッテ罰シタ件數ト云フモノハ極メテ少ク、數件ニ過ギナイ位デアリマス、隨分之ヲ廣ク適用致シマス、此緊急勅令ヲ實施ノ時ハ擴張ニ擴張ヲシテ行ッテ引張ルコトモ出來タノデアリマシタガ、此適用ヲサレタ者ハアノ騷動ノ間ニ隨分危險ナル言動ヲシタ者モ澤山アリマスケレドモ、サウ云フ風ナ言葉トカ筆ノ先ノコトデ、實行ノ意思ノ無イモノハ取締ラナイヤウニ制限シテ來タノデアリマスカラ、是ハ數件ニ出デナイ位ニナツテ居リマス、ソレカラ多數ヲ罰スル云々ト云フコトデアリマスガ、本法ハ實行スル考ヲ以テ實行ノ協議ヲ爲シ、結社ヲ爲シ、煽動ヲスル者ヲ罰スルノデアリマス、多數云々ト云フ、先日議會ニ於テノ話ガ出マシタガ、本田君ノ御説ノ通り、多數ノ人ノヤツタコトデアルカラ、不都合デアルガ、多數デモ少數デモ刑罰ハ公平ニ適用シナケ

ニ依ッテ僅バカリノ刑ヲ受ケタ者ハ益々偉クナルト云フ風ナ模様モ見エタノデアリマス、ソレガ爲ニ今回此法律ヲ提出シテ特別ナル規定ヲ設ケタ所以デアリマス、但シ彼ノ大震災ノ後ニ人心ノ動搖ガ甚シクアリマシテ、餘程心配ノ模様デアリマシタカラ、御承知ノ通り其時緊急勅令ガ出來テ居リマス、緊急勅令ハ大分重イ罰ヲ取締ツシテ居リマスケレドモ、此緊急勅令ノ適用ト云フモノハ餘程注意ヲ致シマシテ、此範圍ヲ擴大ナイコトニ注意致シマシタカラ、此法律ニ依ッテ罰シタ件數ト云フモノハ極メテ少ク、數件ニ過ギナイ位デアリマス、隨分之ヲ廣ク適用致シマス、此緊急勅令ヲ實施ノ時ハ擴張ニ擴張ヲシテ行ッテ引張ルコトモ出來タノデアリマシタガ、此適用ヲサレタ者ハアノ騷動ノ間ニ隨分危險ナル言動ヲシタ者モ澤山アリマスケレドモ、サウ云フ風ナ言葉トカ筆ノ先ノコトデ、實行ノ意思ノ無イモノハ取締ラナイヤウニ制限シテ來タノデアリマスカラ、是ハ數件ニ出デナイ位ニナツテ居リマス、ソレカラ多數ヲ罰スル云々ト云フコトデアリマスガ、本法ハ實行スル考ヲ以テ實行ノ協議ヲ爲シ、結社ヲ爲シ、煽動ヲスル者ヲ罰スルノデアリマス、多數云々ト云フ、先日議會ニ於テノ話ガ出マシタガ、本田君ノ御説ノ通り、多數ノ人ノヤツタコトデアルカラ、不都合デアルガ、多數デモ少數デモ刑罰ハ公平ニ適用シナケ

ニ依ッテ僅バカリノ刑ヲ受ケタ者ハ益々偉クナルト云フ風ナ模様モ見エタノデアリマス、ソレガ爲ニ今回此法律ヲ提出シテ特別ナル規定ヲ設ケタ所以デアリマス、但シ彼ノ大震災ノ後ニ人心ノ動搖ガ甚シクアリマシテ、餘程心配ノ模様デアリマシタカラ、御承知ノ通り其時緊急勅令ガ出來テ居リマス、緊急勅令ハ大分重イ罰ヲ取締ツシテ居リマスケレドモ、此緊急勅令ノ適用ト云フモノハ餘程注意ヲ致シマシテ、此範圍ヲ擴大ナイコトニ注意致シマシタカラ、此法律ニ依ッテ罰シタ件數ト云フモノハ極メテ少ク、數件ニ過ギナイ位デアリマス、隨分之ヲ廣ク適用致シマス、此緊急勅令ヲ實施ノ時ハ擴張ニ擴張ヲシテ行ッテ引張ルコトモ出來タノデアリマシタガ、此適用ヲサレタ者ハアノ騷動ノ間ニ隨分危險ナル言動ヲシタ者モ澤山アリマスケレドモ、サウ云フ風ナ言葉トカ筆ノ先ノコトデ、實行ノ意思ノ無イモノハ取締ラナイヤウニ制限シテ來タノデアリマスカラ、是ハ數件ニ出デナイ位ニナツテ居リマス、ソレカラ多數ヲ罰スル云々ト云フコトデアリマスガ、本法ハ實行スル考ヲ以テ實行ノ協議ヲ爲シ、結社ヲ爲シ、煽動ヲスル者ヲ罰スルノデアリマス、多數云々ト云フ、先日議會ニ於テノ話ガ出マシタガ、本田君ノ御説ノ通り、多數ノ人ノヤツタコトデアルカラ、不都合デアルガ、多數デモ少數デモ刑罰ハ公平ニ適用シナケ

ニ依ッテ僅バカリノ刑ヲ受ケタ者ハ益々偉クナルト云フ風ナ模様モ見エタノデアリマス、ソレガ爲ニ今回此法律ヲ提出シテ特別ナル規定ヲ設ケタ所以デアリマス、但シ彼ノ大震災ノ後ニ人心ノ動搖ガ甚シクアリマシテ、餘程心配ノ模様デアリマシタカラ、御承知ノ通り其時緊急勅令ガ出來テ居リマス、緊急勅令ハ大分重イ罰ヲ取締ツシテ居リマスケレドモ、此緊急勅令ノ適用ト云フモノハ餘程注意ヲ致シマシテ、此範圍ヲ擴大ナイコトニ注意致シマシタカラ、此法律ニ依ッテ罰シタ件數ト云フモノハ極メテ少ク、數件ニ過ギナイ位デアリマス、隨分之ヲ廣ク適用致シマス、此緊急勅令ヲ實施ノ時ハ擴張ニ擴張ヲシテ行ッテ引張ルコトモ出來タノデアリマシタガ、此適用ヲサレタ者ハアノ騷動ノ間ニ隨分危險ナル言動ヲシタ者モ澤山アリマスケレドモ、サウ云フ風ナ言葉トカ筆ノ先ノコトデ、實行ノ意思ノ無イモノハ取締ラナイヤウニ制限シテ來タノデアリマスカラ、是ハ數件ニ出デナイ位ニナツテ居リマス、ソレカラ多數ヲ罰スル云々ト云フコトデアリマスガ、本法ハ實行スル考ヲ以テ實行ノ協議ヲ爲シ、結社ヲ爲シ、煽動ヲスル者ヲ罰スルノデアリマス、多數云々ト云フ、先日議會ニ於テノ話ガ出マシタガ、本田君ノ御説ノ通り、多數ノ人ノヤツタコトデアルカラ、不都合デアルガ、多數デモ少數デモ刑罰ハ公平ニ適用シナケ

レバナラヌト思ヒマスカラ、御同感デアリマス

○本田委員 只今大臣ハ同感ト言ハレマシタガ、私ハ斯フ云フコトガ此法律ノ根元ヲ危クスルモノト思フ、多數デヤツタカラ罰シナイト云フコトヲ、此衆議院デ範ヲ示スヤウナコトデハ、イカヌト云フコトヲ私ハ申シタノデアリマス、私ハ此際形容ヲ拔キニシテ、的確ニ伺ヒマスガ、國體若ハ政體ヲ變革シ又ハ私有財産制度ヲ否認云々トアリマスガ、ドウ云フ譯デ此事ヲ第一條ノ中ニ列舉サレタノデアリマスカ、刑法ニ依レバ七十七條カラ八十條マデノ中ニ、色ミナ罪ガ掲ゲラレテアリマスガ、國體ヲ變革スルトカ、政體ヲ變革スルトカ、私有財産ヲ否認スルト云フコトヲ、同一ニ見テ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、私ハ此國體トカ或ハ政體ヲ變革スルトカ云フコトハ、政府ヲ顛覆スルトカ、國家ヲ無政府主義ニスルト云フコトニナルノデアリマセウ、ソレカラ私有財産ノ否認ト云フコトハ、共產主義ノコト、思ヒマスガ之ヲ同一ニ見テ提案ヲシタノハドウ云フ譯デアアルカ、ソレヲ御聽キシタイ、ソレカラ治警ノ十七條ノ煽動ト云フコトハ既ニ社會ノ問題トナツテ、之ヲ取消サナケレバナラヌコトニナツテ居ルニモ拘ラス、此第三條ニモ「煽動」第四條ニモ「煽動」ト云フ字ヲ用キテ居リマスガ、斯ウ云フ文字ヲ使用シタ理由ヲ御聽キ申シタイ、ソ

レカラ「前五條ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又ハ免除ス」トアリマスガ、刑罰ハ内容モ形式モ明瞭ニナツテ居ナケレバナラヌ、且ツ統一サレテ居ナケレバナラヌノニ、本法

ハ——治安維持法ハ漠然トシテ居ッテ、大切ナ點ガ明瞭ヲ缺イテ居ルト思ヒマスガ、是デ政府ハ満足シテ居ルカ、是モ伺ヒタイ、ソレカラ是ハ重大ナ問題デアリマスガ、今ノ五條ノ場合ノ自首減輕デアリマス、多數ノ人間ガ團體ヲ組ンデ罪ヲ犯シテ、一人ノ者ガ自首シテ出レバ之ヲ減免スル、サウシテ多數ノ人間ガ處分サレル、斯ウ云フ事柄ハ是ハ刑法ノ誣告罪デアルナラバ、一人ノ者ガ自首シテ出タラ減免シテモ宜イガ、多數デヤツテ一人ガ自首シタカラ、ソレヲ減免スルト云フコトハ、法律ノ根本ニ於テ矛盾シテ居リハセヌカト云フ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○小川國務大臣 此國體政體ノ變革ト、私有財産制度ノ否認トヲ同ジニ取扱フタノハドウ云フ譯カト云フコトデアリマスガ、是ハ必シモ同ジデアルト云フ意味デハアリマセウ、斯ウ云フ事ヲ實行スル者、其目的ヲ以テ運動ニ著手スルト云フ事柄ヲ罰シヤウト云フノデアリマス、此三ツ共何レモ國家ノ爲メ、社會ノ爲ニ恐レベキ事デアルト云フコトハ同ジデアリマス、程度ニハ違ヒハアリマスケレドモ、之ヲ防止シナケレバナラヌト云フ點ハ同ジデアッテソレニ

ハ實行ノ目的デ協議ヲシタリシテモ罰シナケレバナラヌカラ、其點ハ同ジデアリマス、更ニ進ンデ行キマスルト、國體ニ關スル事ニ付テハ刑法等ニ十分規定サレテアリマス、刑法ニ於テハソレ

事柄ニ依テ輕重ノ別ヲ立テ、アリマス國體若ハ政體ノ變革、私有財産制度ノ否認ト云フコトハ絕對ニ同一ト云フコトデハナイガ、斯ウ云フ危險ナル目的ヲ續ケルコトヲ罰スルト云フ點ダケハ同一デアルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ、次ハ煽動ノコトデアリマスガ、煽動者ヲ罰スル必要ガアリマス、是ハ實行スル目的ヲ以テ、第三條ニ規定シテアル通り、共產主義ヲ實行スル目的デ煽動スル、ヤレ——ト云フテ、斯ウ云フ事ガ段々流行シ掛ケテ困ッテ居ル、之ヲ救シテ置イテ、氣勢ガ高マテ、全國ニ廣ガルヤウニナツタラ、ドンナ法律ヲ拵ヘテモ取締ガ出來ナイコトニナルト思ヒマスカラ、斯ウ云フ場合ニ罰スルト云フノデアリマス、其代リ嚴重ニ制限ヲシテ、實行ノ目的ヲ以テ煽動シタル者ヲ罰スルト云フノデアリマス、ソレカラ終リノ減刑免除デアリマスガ、是ハ自首シテ出テ來タル者デケテ減輕免除スルコトニナツテ居リマス

○本田委員 私ノ伺ッタノハ治警第十七條ノ煽動ト云フ字ガヤカマシク社會ノ問題トナツテ、此煽動ト云フ事ヲ取消サナケレバナラヌト言ウテ騒イテ居リマス、然ルニ此法律ニ煽動ト云フ字ヲ

使ッテ居ルノハドウ云フ譯デアアルカ、今實行ト云フコトニ付テ煽動ガ必要ダト云フコトデアリマスケレドモ、煽動ト云フ字ヲ使フト是ガ惡用サレルコトニナル、色ミノ方法デ此煽動ト云フ字ガ惡用サレルト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デ斯ウ云フ字ヲ使ヒマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ今ノ減輕デアリマスガ、一人ノ自首シタルハ減輕免除ガアツテ、大勢デ一緒ニヤツテ自首シナイ者ヲ縛ルト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○小川國務大臣 本田君ハ大正十年デアツタカ、十一年デアツタカ、過激思想取締法案ノコトヲ御引キニナリマシタガ、彼ノ時ノ法律案ハ宣傳ト云フコトヲ罰シテ居リマス、即チ斯ウ云フコトニナツテ居リマス、社會主義ヲ宣傳シ、又ハ宣傳セントシタル者ヲ罰スルト云フコトニ此前ノ過激社會運動取締法ト云フモノハナツテ居ル、是ガ評判ガ惡カッタノデアリマス、是ハ先達テ本會議ニ於テモ青木精一君カラハ何故ニ宣傳マデモ罰セヌカト云フ質問ガアツタ位デアリマス、宣傳ヲ罰スルト云フコトハ確ニ一ツノ方法デアラウト思ヒマスガ、ソレマデ罰スルト云フコトニナルト、果シテ實行ノ意思ガアツタカ無ツタカ分ラナイ者マデモ罰シナケレバナラヌト云フコトニナルカモ知レヌ、斯ウ云フヤウナ關係カラ今度ハ之ヲ除キマシテ、實行ヲ煽動シタル者ヲ罰スルト云

フコトニ狭ク拵ヘテ來タノデアリマス、是ハ前ノ過激社會運動取締法トハ大變ナ相違ガアルノデアリマス、ソレデ煽動其モノハ今日其事實ガ在ルノデアアルカラ、煽動ト云フ事ハ世間常識デモ是ハ解釋ガ付ク話デアリマス、サレバ立法令カラ見テモ、常識カラ見テモ此煽動ト云フコトハ常儀テ居ルノデアリマスカラ、之ヲ取締ル、併シ是ハ嚴重ニ擴張ノ出來ナイヤウニ書イテアル積リデアリマス、ソレカラモウ一ッハ此自首ヲシタ者ヲ輕減、若クハ免除スルト云フハ、是ハ大勢デ一緒ニヤリマシテモ、自首シテ來タ者ニ付テダケ減免スルノデアリマスガ、其ノ理由ハ御承知ノ通り此犯罪ハ外ノ犯罪ノヤウニデナク、ズツト以前ニ罰スルノデアアル、實際實行セヌ前デモ國家ヲ轉覆スル爲ニスルト云フヤウニ、恐ルベキ危險ガアリマスカラ、單ニヤラウト實行ノ宣傳ヲシタリ、實行ヲスルト云フ協議ヲシタ者ヲ罰スルト云フデアリマスカラ、事實其ノモノニ深く立入ラヌ中ニ罰スルト云フデアリマス、ソレデ自首スルト云フ者ハ深く悔悟ヲ致シタノデアリマシテ、餘リ社會ニ害毒ヲ流サナイ者デアツテ、此者ニ對シテ減輕又ハ免除スル爲ニ他ノ者マデモ許スト云フコトハ少シモ理由ガ無イヤウニ思ヒマス

カ、恐ラク社會主義、共產主義ヲ御處分ニナルノハ誰モ何トモ言ハナイト思フ、然ルニ斯ウ云フ風ニ茫漠タル法律ヲ設ケテ、サウシテ色々之ヲ惡用サレルト云フコトハ殆ド明瞭ナル事實デアリマス、ソレ故ニ之ヲ共產主義、無政府主義ト云フ風ニセラレナカッタ理由ヲ伺ヒタイノデアリマス

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

マシテ、其何タルカ漠然ト致シマスケレドモ——ソレ故ニ此所ニ制度ト云フ字ガ加ハツテアルノデアリマス、制度ト云フコトニナリマス、一ツノ纏ッテ觀念ニナルノデアリマス、秩序ガ總括サレテ、茲ニ制度ヲ生ズルノデアリマス、其私有財産ノ制度ヲ否認スルト云フコトニナリマスルコト云フト、其根本ヲ否定スルト云フ意味ニナルノデアリマス、私有財産ナル文字ハ成程廣イ意味デアリマスケレドモ、制度ト云フコト、否認ト云フコトヲ結付ケテ、茲ニ根本的ニ私有財産制度ヲ否定スルト云フ意味ニナルノデアリマスルカラ、斯ノ如ク茲ニ書現ハシマスルコト、云フト之ニ依ッテ裁判官ハ其適用ガ可能デアルト云フコトヲ政府ニ於テハ信ジテ居ルノデアリマシテ、無政府主義、共產主義ト云フヤウニスルト其適用ガ困難デアアル、故ニ斯ノ如クスルコトガ適當ト信ジテ居ル次第デアリマス

○山岡政府委員 其點ハ原案ノ如ク書クガ適用上疑義ガ無イカ、或ハ又御説ノ如ク無政府主義、共產主義ト云フ風ニ書ク方ガ疑義ガ無イカト云フ比較問題ニナルノデアリマス、勿論政府ニ於キマシテモ、立案スルマデニハ色々ト各方面ノ文字ヲ出シテ研究ヲ致シタノデアリマス、無政府主義、共產主義トハ何デアアルカト云フコトニナリマス、學者ノ間ニ於テモ其根本ハ決ッテ居リマスケレドモ、其範圍ニ至リマシテハ人ニ依ッテ説明ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、大體申上ゲマスレバ國家ノ存續ヲ否定シ、法律ヲ否定スルト云フコトガ無政府主義ノ大體ノ範圍デアリマス、併シ其枝葉ノ方面ニ至ッテハ説ガ岐レテ來ルノデアツテ、ソレト同様ニ共產主義ニ至リマス、一層説ガ岐レルノデアリマス、生産財ヲ公有ニスルト云フコトヲ一面ニ於テハ唱ヘル、又他ノ一面カラ極ク進ンデ申シマス

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

○本田委員 此治安維持法ノ第一條ニ於テ社會主義者トカ、無政府主義、共產主義ト云フコトニ爲サラヌノデアアル

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

ト云フ觀念ガ入ラナイヤウニシテシマフ、斯ウ云フ所マデモ來ルノデアリマス、隨テ共產主義ト云フモノニ付キマシテモ、廣イ意味ト狹イ意味トガアリマシテ、一定シタル觀念デナイノデアリマス、其根本ニ於キマシテハ無政府主義、共產主義ト申シマシテモ、決ッテ居リマセウケレドモ、其文字ガ代表スル範圍ト云フモノハ甚ダ不明瞭デアリマス、ソレデアリマスルカラ御説ノヤウニ書キマス

共ノ如キ政治家ト云ヒ、或ハ社會ノ大新聞社ト云ヒ此政體ト云フ文字ナドニ付テハ重大ナル關係ガ及ボシテ來ルト思フノデアリマス、私ハ茲ニ申上ゲテ置キタイノハ、山岡サンナドハ御承知デアラウト思ヒマスガ、政府ガ反對者ニ對シテ大ニ壓迫ヲ加ヘルトキニハ、故ラニ其人間ノ人格マデ調ベテマデモ之ヲ犯罪ニスルト云フヤウナ行動ニ出デアルノデアル、然ルニ偶、斯ノ如キ不明確ナル文字ヲ使ッテ居ル、現内閣ガ峻嚴ナル法律ヲ設ケテ置イタナラバ、將來此法律ヲ應用シテ如何ナルコトデモ出來ルコトニナルノデアル、サウ云フヤウナ風ニ此法律ヲ制定サレテ居ッテ、此文字ナドニ對シテ後ニナッテ大變デアアルナドト言ッテモイカヌノデアアル、選舉法ナドデアリマシタナラバ、此次ニモ直ニ改正スルト云フコトガ出來マスケレドモ、斯ウ云フ治安維持法ニ對シテハ、直ニ改正スルト云フコトハ中々出來ルモノデヤナイ、不明確ナル文字ヲ使ッテ斯ウ云フ重大ナル法律ヲ設ケルト云フコトハ、吾々ハ到底贊成スルトコトガ出來ナイ、ソレデ、政府ガ此社會ヲ善處スル途ヲ考ヘナイデ、唯、罰則ヲ嚴重ニシテ社會ヲ取締ラウト云フ方針ハ餘程私ハ危險デアルト思フ、社會ノ問題ハ是非善處スルト云フコトニ、私ガ先程カラ承ッタヤウニ御考ヲ願ハナケレバナラス、嚴格ノ法律ヲ以テ取締ルト云フコトハ却テ國家ヲ危クスルノミナラズ、此法律ヲ惡用サレ

テ將來由々敷キコトニナルト思フ、此法律ヲ使フ者ハ、裁判官ニ少クシテ、是ハ警視廳トカ警察ガ多ク使フ法律ニナルノデアアル、裁判官ノ頭ノ出來タ所ノ官吏ニ使ハレルナラバ宜イケレドモ、之ヲ警察デ使ッテ惡用サレタトキニハ將來其惡例ヲ貽スコトニナル、斯ノ如キ事ニモ政府ハ十分ニ留意サレテ居ルカ否ヤト云フコトヲ聽イテ置キタイ

○熊谷政府委員 本田サンノ只今ノ御尋ガ大體此所ニ出テアルヤウデアリマス、政府ノ見ルトコロニ依リマス、先ヅ此條文ハ餘程練リニ練ッテ他ノ文字ト差換ヘタ場合モアリマシタガ、此文ナラバ説明ガ付カウ、了解ガ付カウト云フノデ此條文ニナッタノデアリマス、併ナガラ他ニ適當ナル文字ガアツテ、ヨリ以上明確ニ意思ヲ發表スルコトノ出來ルモノガアレバ、ソレニ改メルト云フコトハ決シテ客デナイノデアリマスガ、實際中ニ困難デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレカラ此法律ガ施行セラレタ曉ニハ、法ヲ執ル者ノ上カラシテ種々ナル國民ノ上ニ、社會ノ上ニ惡影響ガアルト云フ御説ヲ承リマシタ、此點ニ對シマシテハ飽迄モ法ノ精神ノ在ル所ヲ酌ミマシテ、其施行ト云フコトヲ十分ニ期スル考デアリマス、内務當局モ居ルコトデアリマスカラ、警察官ニ對スル取締ニ關シテハ内務當局ヨリ御答ガアルコト、思ヒマス

○本田委員 ドウモ一向満足致シマセ

スガ——意見モ加ヘナケレバナラヌノデ、此大切ナル法律デモアリマスカラ私ハ意見ヲ加ヘテ伺ヒタイト思ヒマス、政務次官ハ御承知ナイカ知レマセヌガ、此所ニ熊谷君ガ居ラレマスガ、警視廳ナドハ時ノ政府ニ依ッテハ、ドウモアノ人間ハ反對スルカラアノ人間ノ一ツ身分ヲ調ベテ彼奴フン縛ッテシマヘ、宜シト云フノデ、色々惡用スルノデアリマス、是ハ事實デアリマス、ソレガ爲ニ何時モ非常ニ政治家ハ困難ヲシテ居ル、然ルニ此法律ハ、斯ウ云フ明文デアルト云フト、何モソシナ事ヲスル必要ハ無い、演說會ニ行ッテ速記者ヲ附ケテ置ケバ、ソレ煽動ダ、ソレ教唆ダト云フ譯デ直ニ舉ゲルト云フコトガ出來ル、僕ハ憲政會ノ諸君ニモ能ク御承知ヲ願ッテ置キタイガ、是ハ一番多ク引掛カッテ來ル、斯ウ云フヤウナ危險ナル法律ハ、此處ニ山岡サンモ居ラレマスガ、山岡サンノヤウナ法律家ハ考ヘテモ宜イガ、政治家トシテハ斯ウ云フ法律ニハ贊成スルコトガ出來ルモノデナイ、徹頭徹尾反對シナケレバナテヌ、マア是ハ意見デアリマス、ソレデ私ハ斯ウ云フコトヲ伺ッテ置キタイ、此法律ヲ出サズシテ、何故ニ前ノ法律ヲ改正スルコトヲシナカッタカ、時代ニ副フト言ハレケレドモ、私共ハ時代ニ副ハヌト思フ、斯ウ云フ時代ニ副ハヌ所ノ峻嚴ナル法律ヲ出サレルノハ、前ノ法律ガ、先程ノ説明ノヤウニ非常ニ輕カッタト云フコト

デアルナラバ、前ノ法律ヲ何故ニ改正シナカッタカ、其方ガ穩デハナカラウカ、其點ハドウデアリマスカ

○山岡政府委員 現在ノ法律ヲ改正致シマシテモ、本案ノ取締ラントスル目的ヲ達スルコトガ出來ナイトハ申シマシタ、ト申シマスノハ、新聞紙法、出版法、治安警察法、刑法、何レニモ憲法ヲ紊亂スル或ハ國憲ヲ紊亂スルト云フコトヲ取締ッテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ結社、協議、煽動、其目的ヲ以テ爲シタル場合ニ於テハ之ヲ處罰スル、斯様ニ附加ヘレバ出來ルコト、思ヒマス、ソレカラ又次ニ安寧秩序ノ問題デアリマス、併ナガラ新聞紙法、出版法、治安警察法ニハアリマス、之ニ刑罰ヲ相當ニ、只今申上ゲタ行爲ニ付テ適用致シマスレバ、ソレデモ取締ハ付キマス、然レドモ其所ヲ特ニ此案ヲ經メテ制定シタ所以ハ一二ノ理由ガアルノデアリマス、只今本田代議士ヨリ政治演說トノ關係、政治運動トノ關係ヲ御憂慮ニナッテ御質問デアリマシタ、此點ハ政府當局ニ於テモ深く考慮致シタ點デアリマス、安寧秩序ノ紊亂ト云フコトハ、最モ我國ニ於テ秩序ノ問題トシテハ廣ク使ハレテ居ル文字デアリマス、此文字ヲ以テ重イ刑罰ヲ結付ケマシタナラバ、政治演說ノ少シク勢ガ熱シテ演說ノ歩ガ進ミマシタナラバ、ソレハドウモ引掛カラヌトハ限ラヌノデアリマス、サウ

云フコトデ、斯ノ如キ重イ規定ヲ置ク
ト云フコトハ、政治上ニ於テハ、是ハ考
慮シナケレバナラヌ問題デアリマス、
ソレデアリマスカラシテ、第一條ニ於
テハ實ニ狭ク致シマシタノデアリマス、
朝憲案亂ノ中、國體ト政體ヲ根本カラ改
革スル、是ダケヲ朝憲案亂ノ中カラ拔
キマシタカラ、歩合デ云ヒマス、一二
分ノ歩合ノ外アリマセヌ、七八分ハ除
外シテ新聞紙法、出版法以下ノ法律ニ
依ッテ取締ラナケレバナラヌコトニナ
ルノデアリマス、次ニ安寧秩序ノ問題
デアリマス、安寧秩序ト申シマスレバ、
申上ゲルマデモナク現今ノ法律關係、
明文ニアリマスル總テノ法律關係其以
上ニ法律ノ解釋カラ來タ所ノ秩序問題
ニモ這入ル、洵ニ廣イモノデス、ソレデ
アリマスカラ其儘之ヲ移シ來ッタナラ
バ實ニ危險デアル、ソレ等ハ立法上マ
ダ今日ニ於テ注意ヲシナケレバナラヌ
重大ノ問題デアルノデアリマス、此一
二事項ハマダ今日特別ナ取締ヲシナケ
レバナラヌ問題ガアルノデアリマス、
ソレ等ヲ避ケテ唯、偏ニ私有財産ノ根
本ヲ破壞スルト云フダケヲ持ッテ來マ
シタカラ、安寧秩序ハ本當ノ一部デス、
單ニ一部デス、一部持ッテ來タケデス、
而モ其目的物トシテ斯様ナ朝憲案亂ノ
一部、二部、而シテ安寧秩序ノ一部ヲ持ッ
テ來テ居ルコトヲ御承知願ヒタイ、尙
又變革ト否認ト云フコトデアリマス、
朝憲案亂、安寧秩序ノ案亂ト云フコト

ニナリマスルト云フト、是ハ頗ル廣イ
ノデス、是ハ變革ト致シマシテ根本的
ニ革新スルノデアリマス、強イ言葉ヲ
以テ言ヘバ革命的ト申上ゲテモ宜シイ
ガ變革ト云フノハサウ云フ強イ意味ヲ
持ッテ居リマスガ、茲ニ政體ト云フ字句
ガ廣クアリマシテモ、變革ト云フ意味
カラ之ヲ根本的ニ覆ヘス、ソレカラ又
先刻申上ゲマシタヤウニ制度ノ否認ト
云フコトニナリマス、私有財産制モ
尙且根本的ニ否定スルト云フコトニナ
リマスカラ、段々御説ノアリマシタヤ
ウニ、從前ノ法律ヲ以テシナイノハ、政
府ノ考ヘル目的トシテハ——政府トシ
テハ此案ヲ出シテ由テ以テ今日最モ危
險ナリト考ヘル一部分ニ向ッテノ取締
ヲスル考デアリマシテ、政治的運動其
他ノ社會運動ヲ毫モ阻止スル考ガ無イ
カラ、否、阻止セザランガ爲ニ、斯ノ如
ク特ニ茲ニ舉ゲ來ッテ歩合カラ申シマ
シタ説明ヲモ致ス次第デアリマス、ソ
レカラ尙ホ是ダケニ纏メマシタ所以ハ
——斯ウ謂フコトハ、全ク新立法デア
リマシテ、十九世紀ノ末カラ段々起キテ
來テ今日ニ及ンダ十九世紀ノ法律、即
チ佛蘭西ノ法治國カラ來タ所ノ法制ヲ
以テシテハ取締ルコトハ出來ナイガ、十
九世紀法律觀念ニ於テ取締ルコトノ出來
ナイ新現象ヲ此所ヘ纏メテ取締ラ致シ、此
法律ヲ見サヘスレバ國民ハ由テ以テ如何
ナル事ヲバスルカト云フコトガ分ル、

是ハ矢張國民ニ是非共周知セシメナケ
レバナラヌノデアリマス、全ク新シイ
事柄デアリマス、故ニ知ラヌ人ガ澤山
アル、斯ウ云フ事ガ新シイ現象デア
ルと思フ、ソレ故ニ頻ニ宣傳ヲシテ居
ルデアリマス、是ガ宣傳ヲ仕切ッテシマ
タナラバ、誰モ知ッテ居ルノデア
ラ、國民ニ向ッテ此法律ヲ纏メタモノ
ニシテ、此意義ヲ理解セシメテ、斯ル法律
ニ罹ラナイヤウニシナケレバナラヌ
デアリマス、只今御述ニナリマシタヤ
ウニ善導、指導ト云フコトハ、是ハ何所
マデモ努メナケレバナラヌ、單リ法律
ヲ以テスルノミナラズ社會事業若クハ
社會教育、精神教育ト云フヤウナコト
ニ依ッテ之ヲ善導シナケレバナラヌ
デアリマス、政府ハ此法律ヲ實施スル
付テハ、何處マデモ善導ト云フコトニ
付テ責任ヲ持タンケレバナラヌト考ヘ
マス、而シテ此法律ヲ適用スルト云フ
コトハ、洵ニ慎重マナケレバナラヌ、先
刻大臣ヨリ申上ゲマシタヤウニ彼ノ緊急
勅令ヲ適用スルコト、震災後既ニ一年
半以上ニ及ンデ居リマス、其間ニ數件
ホカアリマセヌ、ソレハ司法省ト致シ
マシテ此適用ヲ何處マデモ慎重マナケ
レバナラヌト云フ訓令ヲ出シテアルノ
デアリマス、此法律ノ實施ニ付テモ必ズ
慎重ナル態度ヲ執ルベキコト、申上ゲ
テ宜シイ次第デアリマス

○本田委員 只今ノ御説明デシタガ、
私ハ本法ハ只今ノ御説明ニ依ッテモ政
府ノ真意デナイト云フコトヲ説キタイ、
斯ウ云フ法律ハ只今山岡サンノ御説ノ
通り前法ヲ改正シテモ足ルモンデア
ル、併シ法律ト云フモノハ、是ハ政府ハ或
ル樞密院ノ人ニ依ッテ、此法律ヲ提案シ
ケレバ普選ガイカスト云フヤウナコト
デ、私ハ此案ガ出タモノト考ヘテ居ル、
ソレデゴザイマスカラ、本法ヲ一ツ撤
回シテ、前ノ法律ヲ改正シテ取締ルコ
トガ出來ルカ出來ヌカト云フコトヲ私
ハ伺ヒタイ

○熊谷政府委員 本田君ノ御問ハ本法
ハ政府ノ意思ニアラズ、——眞ノ意思
ニアラズ、何カ求ムル所ガアッテ此案ヲ
出シタモノデアルカノ如キ御意見デア
リマシタガ、サウ云フ事實ハ全ク無イ
ノデアル、ソレハ明ニ此所ニ聲明シテ
置キマス、次ニ此新シイ法律ヲ立テナ
イデ、古イ法律ヘ織込ンデ——古イ法
律ヲ改正シテ此目的ヲ達スルコトガ出
來ヌカト云フ御問デアリマスルガ、是
ハ他ノ政府委員ヨリ只今申シマシタヤ
ウニ、他ノ現行法ニ此意思ヲ混ゼテ立
法シテ行クト云フト大變範圍ガ廣イ
モノニナッテ、一方ニ於テハ朝憲案亂ト
云フモノ、文字ノ中ニ織込マナケレバ
ナラヌ、一方ニ於テハ安寧秩序ト云フ
モノヲ織込ンデ行カンナラヌカラ、非
常ニ範圍ガ廣クナッテ、ソレコソ政府ガ
罰セント欲スル所ノモノ、外マデモ罰
センナラヌト云フヤウナ結果ヲ生ズル
ヤウニナリマスカラ、已ムヲ得ズ新シ

イ法律ヲ拵ヘタモノデアルト、斯フ御諒解ヲ願フテ置キマス

○川崎警保局長 本田代議士ノ御質問ノ中ニ御意見トアリマシタカラ答辯セヌデモ宜シイヤウナモノデアリマスルガ、詰リ警察ノ信用ニモ關シマスカラ、唯一言申シマス、今日マデ警察ガサウ濫用シタトハ信ジテ居ラナイ、又今後ニ付キマシテハ一層サウ云フコトガアレバ監督モ致シマス、唯執行スル方ガ執行ヲ受ケラレル方トノ間ニ多少サウ云フ感情ヲ持ツコトガ有ルカモ知レマセヌ、併ナガラ私共ハ今日マデト雖モ法規ヲ濫用シテ處分ラシタ——取締ラシタト云フコトハ信ジナイノデアリマス、殊ニ此治案維持法ニ付キマシテハ、出來ルダケ立法ノ趣旨ヲ能ク徹底サシマシテ、サウ云フ間違ノ無イコトヲ期シテ居リマス、又御覽ノ通りニ此治案維持法ノ犯罪ハ總テ目的罪ニナツテ居ルノデアリマシテ、元ノ過激法案ノ方ハサウ云フ風ニナツテ居ナイ條文モ隨分アリマシタ、警察ハ目的罪ニナツテ居ル以上ハ其間手ヲ著ケルニ致シマシテモ、相當目的アリト云フ根據ガナケリヤ手ヲ著ケルコトハ出來ナイ、サウ云フ趣旨ニ付キマシテハ十分警察官ニ諒解サシテ居ル積リデアリマス、濫用ナド、云フコトハ絶對ニ無イヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、一言申上ゲテ置キマス

○本田委員 今川崎君ノ御説明デ成ベク將來無イコトヲ私ハ望ミマス——只

今熊谷君ノ御話デシタガ此樞密院ガドウモ約束ラシテヤルト云フコトハ天下公知ノ事實デアアル、寧ロ私ハ政府ハ樞密院ガ無理ニ斯ウ云フモノヲ出セト言ハレタト云フカラ出シタモノダト云フ方ガ私ハ却テ好イト思フ、是ハ實際ニ此法律ト云フモノハ何トカ一ツ考ヘテ戴カナケレバナラヌ、是ハ與黨ノ諸君モ將來取締ヲ受ケルコトデアアルカラ一ツ研究シテ、ドウカ考ヘテ見ルコトヲ私ハ希望シテ打切ツテ置キマス——質問ハ續クノデス

○小川國務大臣 一寸一言シテ置キマスガ、樞密院トノ約束ガ天下公知ノ事實ダカ——何所デ天下公知デアアルカ知ラヌガ、サウ云フ事實ハ全クアリマセヌ、私茲ニ斷言シテ置キマス

○本田委員 新聞ニ書イテアツタ

○小川國務大臣 新聞ニ書イテアツタモ嘘デス

○熊谷政府委員 一寸本田サンノ御問ニ御答シテ置キマスルガ、治安維持法ナルモノハ、彼ノ緊急勅令ヲ出シタ後ニ於キマシテ、當時政府ハ、之ヲ或ル法令ノ出ルマデハ此勅令デ以テ維持シテ行クガ、或ル法令ガ出レバ直ニ廢スルト云フコトハ、前内閣ニ於テモ聲明シテアル、即チ其半面ニ於キマシテハ治安維持法ナルモノ——今日ノ治安維持法ナルモノガ出ルト云フコトヲ聲明サレテ居ル、而シテ當局ニ於キマシテハ——内務省及司法省ニ於キマシテハ、治安維持

法ノ立法ニ取掛ツタト云フモノハ、其後遲滯ナク掛ツテ居ル、現ニ昨年ノ十二月豫算會議ニ於テ治安維持法ナルモノガ出ルノデアアルト云フコトヲ聲明セラレテ居ル、政府ハ即チ樞密院ノ諸公ノ要望ト云フモノトハ、自分ノ見ル所ニ依ッテハ何等ノ關係アルモノデハナイト、斯ウ確信スルノデアリマス

○前田委員長 只今散會前ニ——原君

ガ散會前ニ議事進行ニ付テ發言ガアルト云フコトデアリマスカラ、許シマス

○原委員 本法ノ附則デ廢止セラレタル勅令四百三號ノ適用ヲ受ケタル事件ノ内容、竝ニ件數ノ參考材料ヲ司法省カラ御提出ニナルヤウニドウゾ御交渉ヲ願ヒタイ

○前田委員長 宜シウゴザイマス、本日ハ此程度デ散會シマシテ、明日午前十時ヨリ開キマス

午後零時二十一分散會

大正十四年二月二十四日印刷

大正十四年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社